

平成22年度の輸送実績（速報）

平成23年4月

1. 輸送概況

平成22年度は、3月11日に「東日本大震災」が発生し東北線及び常磐線が甚大な被害を受け不通となった。船舶及びトラックによる代行輸送により輸送力確保に努めているものの、復旧までには相当の期間が見込まれている。また、7月には広島地区を中心に記録的な豪雨による輸送障害もあり、年全体では高速貨2,819本、専貨136本が運休した（平成21年度は、高速貨1,088本、専貨33本が運休）。

荷動きについては、上半期は前年度の景気低迷から輸出産業をはじめ製造業に生産回復がみられたことに加え、記録的な猛暑により季節物資の発送が旺盛となり大幅な増送となった。下半期は、家電エコポイント制度などの効果を受けて堅調に推移したものの、東日本大震災以降は、製造業の生産活動が急減速したほか、物流の寸断による貨物量の大幅な減少により、全体では前年をわずかに上回るに止まった。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、積合せ貨物、食料工業品などが前年を下回ったものの、自動車部品、家電・情報機器、化学工業品などが前年を上回り、年度全体では前年比100.6%となった。自動車部品、紙・パルプ、化学工業品などは前年の大幅な減産の反動により増送となった。また、家電・情報機器はメーカーによるモダシフトの進展等により大きく増送となった。一方、農産品・青果物は昨年夏場の猛暑及び天候不順などの影響を受け減送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石をはじめ全ての品目が前年を下回り、全体では98.2%となった。石油は、夏場の猛暑により自動車向けの揮発油等の需要が増加したものの、東日本大震災の影響を受け減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	平成22年度		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	20,486	20,358	100.6%
車 扱	10,505	10,701	98.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

種別	品 目	本年度実績	前年度実績	増減	前年度比
コンテナ	農産品・青果物	1,821	1,992	-171	91.4%
	化学工業品	1,980	1,916	64	103.3%
	化学薬品	1,529	1,497	32	102.1%
	食料工業品	3,150	3,224	-74	97.7%
	紙・パルプ	3,109	3,059	50	101.6%
	他工業品	1,576	1,501	75	105.0%
	積合せ貨物	2,124	2,231	-107	95.2%
	自動車部品	816	709	107	115.1%
	家電・情報機器	497	414	83	120.0%
	エコ関連物資	353	357	-4	98.9%
	その他	3,532	3,459	73	102.1%
	コンテナ計	20,486	20,358	128	100.6%
車 扱	石油	7,203	7,226	-23	99.7%
	セメント・石灰石	1,277	1,292	-15	98.8%
	車 両	939	1,055	-116	89.1%
	その他	1,088	1,128	-40	96.5%
	車 扱 計	10,505	10,701	-196	98.2%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年度は速報値、前年度は確報値)